

堀眞琴 ほり まこと 政治評論家。明治二十一年五月、二十四日宮城県仙臺生れ、
昭和五十五年一月十六日歿（二八九—一九八〇）。大正十一年東京帝國大學
法學部政治學科卒。法政大學教授等を経て、昭和二十一年參議院議員。
また、世界經濟研究所、綜合アメリカ研究所、日ソ親善協會等の各理事等
を務める。筆名堀伸一。

譯著書、ゲオルグ・ジムメル著『社會學の根本問題』（譯、昭和七
年八月、二十日内外社）、レオン・デュギー著『法と國家』（譯、昭和
十年九月十五日岩波書店「岩波文庫」）、H・S・チェムバーレン著
『近代ヨーロッパの生成』（譯、昭和十八年十二月十日、一見書房）、
『日本民族論』（合著・帝國書院編輯局編、昭和十八年十一月、二十五
日帝國書院「民族科學大系」）、『寶庫ビルタの實情』（合著・ビル
タ協會編、昭和十九年五月、二十日牧書房）、『民主主義十一講』（合
著・日本放送協會編、昭和二十一年十一月、二十日日本放送出版協會）、
『民主主義の理論』（權俊雄共編、昭和二十四年二月、日愛育社）等。

